

一般会計補正予算の修正案提案説明

日本共産党

修正案の内容は「小中学生キャッシュレスチャレンジ事業」を見直すために、7千5百万円を削除するもの。

「小中学生キャッシュレスチャレンジ事業」は花園エキスポ会場内で利用できる電子クーポンを市内の小中学生に2千円分配布するものだが、小学生にキャッシュレス決済を体験させることは、お金の大事さや金銭感覚を養うことに逆行するもの。とりわけ小学校一年生や二年生の児童に、習っていない四桁のお金の計算をさせるといふこと、児童に2千円のお金を二日間で使用させるということ

第2回定例会で可決された補正予算の主な事業

- 令和4年度一般会計補正予算(第4回)
子育て世帯生活支援特別給付金支給経費 8億7,566万8千円
令和4年度一般会計補正予算(第5回)
子育て課税世帯物価高騰対策給付金支給経費 16億9,439万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給経費 7億7,267万4千円
防災対策事業 200万円
キャッシュレス決済ポイント還元事業 12億7,000万円
小中学生キャッシュレスチャレンジ事業 7,500万円
民間社会福祉施設等感染症対策経費 2,070万円
高齢者eスポーツ促進事業 300万円
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給経費 1,010万円
子育て施設給食緊急支援事業 4,212万円
保育所運営経費 270万円
認定こども園運営経費 243万円
地域公共交通特別対策事業 4,350万円
道路ストック点検調査事業 9,240万円
道路舗装事業 1億6,101万8千円
道路新設改良事業 6,188万円
交通安全施設整備事業等 1,000万円
街路整備事業 8,830万円
公園新設改良事業 2,997万2千円
学校屋内運動場空調設備等整備事業【債務負担行為】 限度額 89億円
学校給食緊急支援事業 1億5,500万円
認定こども園運営経費 120万円

討論

日本共産党

議案第67号「東大阪市立市民広場条例の一部を改正

など教育的な観点がかく抜け落ちたもので問題がある事業だと言わざるを得ない。この事業は中止し、子どもたちの思い出となる企画を考え直すべきとして削減を求める。

する条例制定の件に反対。議案第69号「令和4年度東大阪市一般会計補正予算(第5回)」は修正案に賛成し、原案に反対する。議案第67号は、市民広場に指定管理者制度を導入することにより、管理コストがあがり将来的な利用料金の値上げにつながるのではないかと、また市内雇用の確保という面や雇用が不安定

になる懸念があり反対。議案第69号について、今議会は、新型コロナウイルスの感染者が高止まりし、その上、物価高が市民生活や営業に悪影響を与え、ますます苦境に陥っているなか開かれており、地域循環型経済の再構築を行うなど、足腰の強い地域経済やくらしへの対策が求められている。

しかし、市内産業の発展に責任をもつ部署から何らの新規・拡充事業や支援策が提案されていないことは、野田市政のもので、市役所全体の政策立案能力が著しく低下していることを示している。

小中学生のキャッシュレスチャレンジ事業については、その目的が子どもたちの為ではなく、花園エキスポの成功を演出するためのものであることは明白であり、認めるわけにはいかない。

教育委員会との相談もほとんどなく進めることは、思い出づくりどころか、子どもたちに有害な影響を与えることになりかねない。鳥居保育所の存続を求める請願の件は、希望する児童がいつでも保育所に入所でき、また、質の高い保育を提供する責任を果たすために、公立保育所は存続し、活用すべきという立場から、直ちに議決をし、採択するよう求める。

市営住宅の入札をめぐる問題について、わが党は、かねてから公共事業の高値落札の問題や談合疑惑を指摘し、改善を求めてきた。今回こそは、膿を出し切る。その決意を市長に求める。